

The logo for CTC, consisting of the letters 'CTC' in a bold, blue, sans-serif font.

Challenging Tomorrow's Changes

▼ 私たちの将来像、それはユニークネスの集合体です。

第34期 中間事業のご報告

2012年4月1日～2012年9月30日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

証券コード: 4739

株主・投資家の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期（累計）における情報サービス産業は、企業のIT投資に対する慎重な姿勢が継続した反面、基幹系システムの再構築需要が堅調だったほか、モバイル通信の高速化やスマートデバイス普及に伴う通信設備投資が積極的に行われるなど、受注環境は緩やかながらも改善基調で推移しました。このような状況下、当社グループにおきましては、運輸・製造を始めとする幅広い業種向けのサーバやストレージの仮想化技術を用いたインフラ共通基盤案件に注力したほか、既存クラウドサービスの機能拡充や新サービスの提供開始など、収益拡大に向けた取組みを推進いたしました。また、東南アジア地域での事業展開を目的として、タイのIT企業Netband Consulting Co., Ltd.に出資するなど、中長期成長に向けた施策を実施いたしました。

当第2四半期（累計）の業績は、モバイル通信の高速化やスマートデバイス普及を背景とした移動体通信会社向けの設備増強案件が好調だったほか、郵便会社向けのインフラ構築案件、石油元売会社向けPOSシステム案件などが牽引し、売上高および全ての利益項目において前年同期比増収増益となりました。さらに、上記案件が受注にも寄与し、第2四半期（累計）の受注高としては上場来最高となりました。

今後の経済環境は決して楽観できるものではありませんが、企業におけるIT投資需要は底堅く推移すると期待しています。当社グループにおきましては、自社の強みに磨きをかけ、最新の技術をもって新たなマーケットの開拓に挑戦し、IT市場を牽引する「業界トップ企業」を目指してまいります。

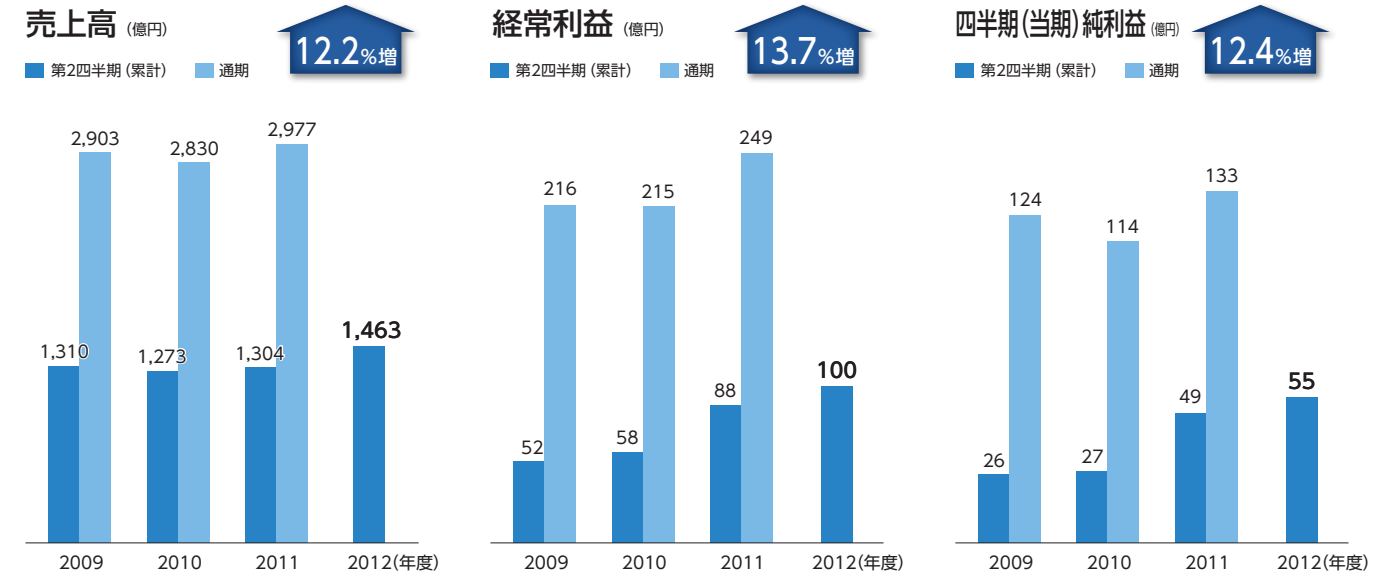
株主ならびに投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



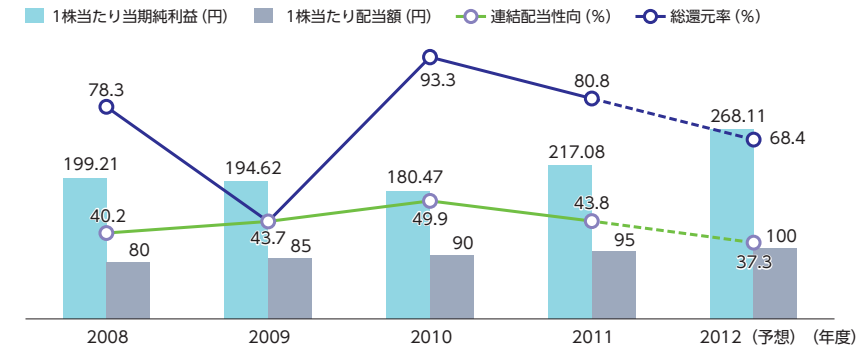
代表取締役社長
菊地 哲

Profile 1976年 伊藤忠商事株式会社入社。
英国、オマーンの海外勤務を経験後、
同社金属・エネルギー経営企画部長、
業務部長を経て、常務執行役員、経営企画担当役員、
代表取締役常務取締役などを歴任、
2009年 生活資材・化学品カンパニープレジデント。
2012年6月から現職。

四半期連結業績ハイライト



株主還元



中間配当金は1株につき50円といたします。また第1四半期には129万株（取得総額49.9億円）の自己株式取得を行いました。

2012年度の連結配当性向は37.3%、自己株式取得と合わせた総還元率は68.4%となる見通しです。

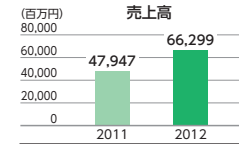
(注) 総還元率 = $\frac{\text{（通期配当予定総額} + \text{自己株式取得金額）}}{\text{通期の連結当期純利益（予想）}}$

会計報告セグメントの変更のお知らせ

2012年度より、報告セグメントの区分方法を変更しています。新しいセグメントは以下のとおりです。

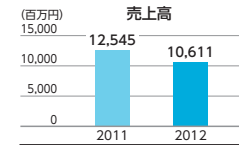
セグメント名称	事業グループ	グループ子会社
●報告セグメント		
情報通信事業	情報通信システム事業グループ	
金融事業	金融システム事業グループ	
エンタープライズ事業	エンタープライズシステム事業グループ	●シーティーシー・ラボラトリーシステムズ
流通事業	流通システム事業グループ	●アサヒビジネスソリューションズ
クラウドプラットフォーム事業	クラウドプラットフォーム事業グループ	●CTCシステムサービス ●CTCファシリティーズ ●ファーストコンタクト
保守・運用サービス事業	保守・運用サービス事業グループ	●シーティーシー・テクノロジー ●シーティーシー・システムオペレーションズ
●その他		
その他	科学システム事業部	●シーティーシー・エスピー

当第2四半期(累計)の状況



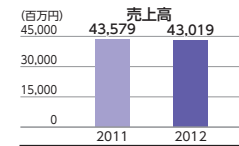
●情報通信事業
移動体通信会社向けの設備増強案件や郵便会社向けインフラ構築案件が伸び、売上高は前年同期比増収となりました。

売上高
66,299百万円
前年
同期比 \uparrow +38.3%



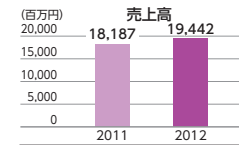
●金融事業
カード会社向け案件等が減少し、売上高は前年同期比減収となりました。

売上高
10,611百万円
前年
同期比 \downarrow △15.4%



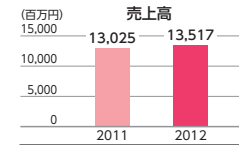
●エンタープライズ事業
前年の公共機関・自動車メーカー向け大型案件の反動等により、売上高は前年同期比減収となりました。

売上高
43,019百万円
前年
同期比 \downarrow △1.3%



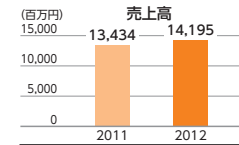
●流通事業
石油元売会社向けPOSシステム案件等が伸び、売上高は前年同期比増収となりました。

売上高
19,442百万円
前年
同期比 \uparrow +6.9%



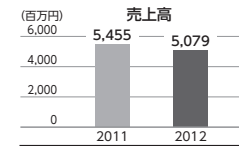
●クラウドプラットフォーム事業
当セグメントは、データセンターを含むクラウド関連ビジネスを全社横断的に提供しております。
売上高は前年同期比増収となりました。

売上高
13,517百万円
前年
同期比 \uparrow +3.8%



●保守・運用サービス事業
当セグメントは、保守・運用を中心としたサービスビジネスを全社横断的に提供しております。
売上高は前年同期比増収となりました。

売上高
14,195百万円
前年
同期比 \uparrow +5.7%



●その他
「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、科学システム事業部や子会社のシーティーシー・エスピーなどが含まれております。
売上高は前年同期比減収となりました。

売上高
5,079百万円
前年
同期比 \downarrow △6.9%

(注) 上記セグメント売上高は、外部売上高およびセグメント間の内部売上高を合算して表示しております。

CTCの注力ビジネス

中期経営計画の最終年度となる今年度、CTCグループが総合力を発揮して、さらなる発展を遂げるために現在注力している取組みを、2つ紹介させていただきます。

ビッグデータ

今、IT業界で注目を集めているキーワードのひとつに、ビッグデータがあります。2012年はビッグデータ元年とも言われ、各企業が取組みを強めています。CTCは、この新しい分野でもお客様から評価される企業となるべく、マルチベンダーの強みを活かした取組みを進めています。

ビッグデータ検証施設の活用推進

CTCは、ビッグデータの有効性を検証する施設である「Big Data Processing Lab (以下BPL)」を今年2月に開設しました。ビッグデータを活用するために必要な高速処理技術を用いた環境を利用して、約20名の専門エンジニアがお客様の課題を解決するため、製品のデータ処理性能、データ連携、バックアップ、耐障害性などを検証しています。

また、高速大容量検証環境を使って、製品の効果測定から導入、さらに構築後の運用までをカバーする「高速大容量アセスメントサービス」を提供しています。

開設から半年以上が経過し、BPLでは既に十数件の検証実績があり、ビッグデータ活用に向けて、高速・大容量データベース製品の事前検証を中心に、金融、製造、製薬、住宅など幅広い業種のお客様にご利用いただいています。

CTCは、マルチベンダーならではの豊富な経験・実績・技術力で、お客様のビッグデータ活用をサポートしていきます。

テクニカルソリューションセンター内にBPLを開設



ベンダー各社の最新機器を導入

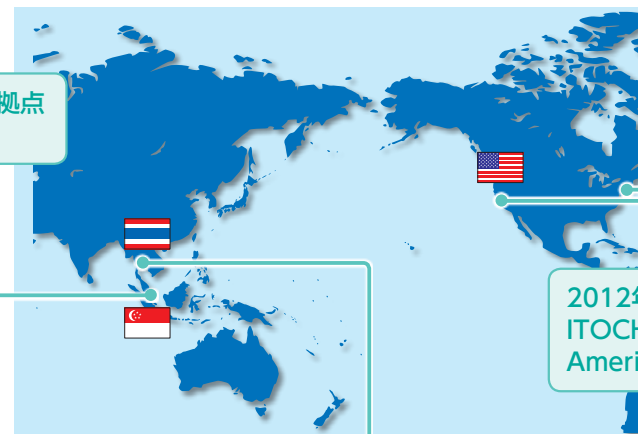
データサイエンティスト育成の進展

ビッグデータに関する重要な取組みのひとつがデータサイエンティストの育成です。データサイエンティストとは、ビジネス知識、IT関連の経験、統計学のバックグラウンドを併せ持つデータ分析の専門家です。CTCはビジネス強化のためデータサイエンティストの育成に取組んでおり、米国のストレージベンダーのトレーニングおよび認定試験を活用し、この度4名の認定者が誕生しました。今後、データ分析サービス、コンサルティング、新規サービス企画など、ビッグデータビジネスを積極的に進めていきます。

グローバル

グローバル展開は、CTCが中長期的に成長をするための重要なテーマのひとつです。持続的な成長のためには、海外で収益を上げられる事業構造が必要となります。CTCは、海外に進出する日本企業のグローバル化支援と、海外の現地企業へのビジネス展開という2つの視点で取組んでいきます。

2011年4月 海外初の独自拠点
シンガポール支店を設立



2012年4月 北米初の現地法人
ITOCHU Techno-Solutions
America, Inc. (CTCアメリカ) を開設

2012年7月 タイのIT企業Netband Consulting Co., Ltd.に出資

東南アジア地域での事業の強化・推進を目的として、タイの中堅IT企業であるNetband社に出資し、発行済株式の45%を保有することとなりました。

今後、同社のタイ国内の事業経営に積極的に参画していきます。

CTCの強みである仮想化、ネットワーク、クラウドサービスを含めたインフラ構築技術をNetband社に移転し、タイや近隣諸国で今後成長が期待される分野に対して共同でシステム販売およびサービス提供を推進し、グローバル展開を加速していきます。



ビッグデータとは

デジタル化の進展により、POSデータやクレジット取引履歴、各種センサから得られるデータなど様々なデジタルデータが飛躍的に増大しています。こうした大量のデータを分析することで人間の行動や自然現象などを予測し、社会インフラの構築や企業経営に役立てようとする考え方が「ビッグデータ」と呼ばれ、注目を集めています。

トピックス

ディスクロージャー優良企業第1位受賞

公益社団法人日本証券アナリスト協会による、平成24年度（第18回）「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、コンピューターソフト部門で第1位に選ばれました。ディスクロージャー優良企業は、日本証券アナリスト協会のディスクロージャー研究会が企業の情報公開の質、量、タイミング等を評価し、情報公開の取組みが優れている企業を選定するもので、1995年より実施されています。CTCは今回、自主的情報開示が特に評価され、初めての1位受賞となり、10月15日に開催された表彰式に菊地社長が出席しました。

引き続き、株主・投資家ならびに全てのステークホルダーの皆様への情報公開に注力していきます。



10月に行われた表彰式の様子



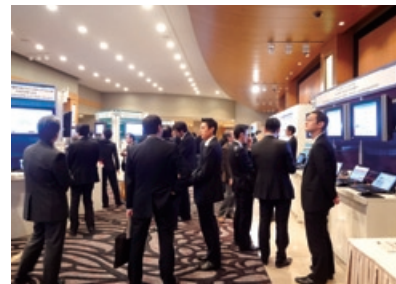
日本証券アナリスト協会稲野会長から記念の盾を受けとる菊地社長

CTCクラウドDay 2012を開催

11月15日にセルリアンタワー東急ホテル（東京）にて、プライベートセミナー「CTCクラウドDay 2012」を開催しました。

CTCクラウドDayでは、CTCのクラウド関連ソリューションとサービスを総称するブランド「cloudage（クラウドージ）」を中心とした展示や基調講演、CTCと協賛各社によるセッションなどを通して、幅広くCTCのクラウドに関する取組みを紹介しました。

CTCでは全国5ヶ所のデータセンターをクラウドサービスの拠点と位置付けており、2013年春には、横浜コンピュータセンターの新棟開設を予定しています。クラウドサービスの拠点として、また、アウトソーシングの基盤として、さらなるビジネス拡大を進めていきます。

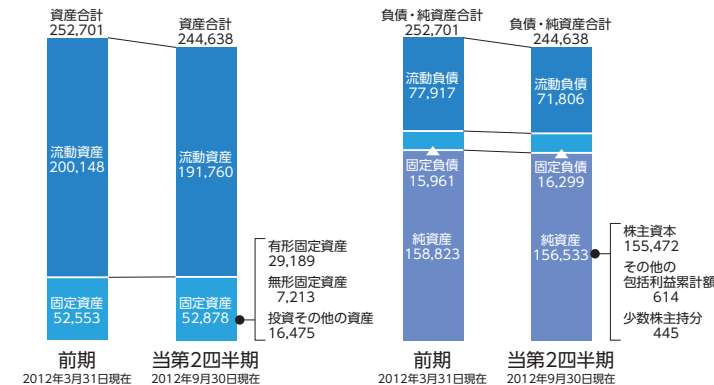


大勢のお客様でにぎわう展示会場

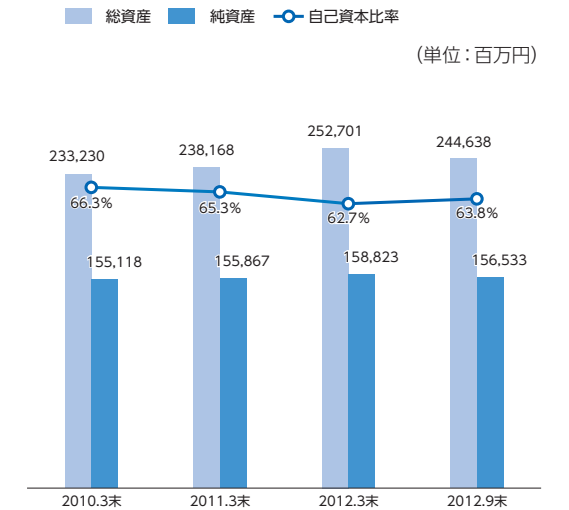


資産・負債の状況

四半期連結貸借対照表(単位:百万円)

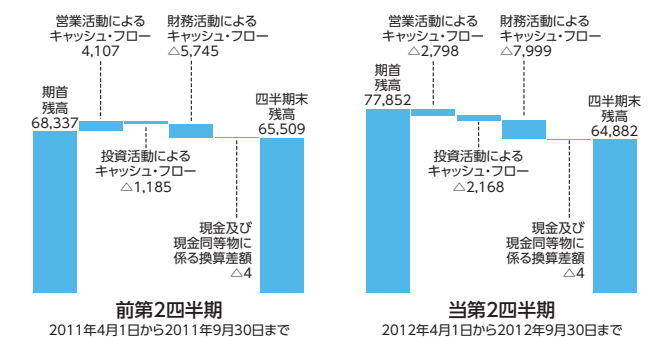


資産合計：たな卸資産、前払費用の増加があったものの、受取手形及び売掛金や有価証券の減少などにより、前期末比8,062百万円減少の244,638百万円となりました。
 負債合計：支払手形及び買掛金や未払法人税等の減少などにより、前期末比5,772百万円減少の88,105百万円となりました。
 純資産合計：利益剰余金が2,506百万円増加したものの、自己株式取得などにより、前期末比2,290百万円減少の156,533百万円となりました。



四半期連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2012年4月1日から 2012年9月30日まで	2011年4月1日から 2011年9月30日まで	2011年4月1日から 2012年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,798	4,107	21,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,168	△ 1,185	△ 2,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,999	△ 5,745	△ 8,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	△ 4	△ 37
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 12,970	△ 2,827	9,515
現金及び現金同等物の期首残高	77,852	68,337	68,337
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	64,882	65,509	77,852



営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加などにより、2,798百万円の支出となりました。
 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や無形固定資産等の取得などにより、2,168百万円の支出となりました。
 財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得及び配当金の支払などにより、7,999百万円の支出となりました。

会社情報 (2012年9月30日現在)

会社概要

会社名 ……伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 (略称 CTC)

英文社名 ……ITOCHU Techno-Solutions Corporation

本社所在地 ……〒100-6080
東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル
TEL 03-6203-5000 (代)
URL <http://www.ctc-g.co.jp/>

創立 ……1972年4月1日

資本金 ……21,763百万円

社員数 ……7,200名 (CTCグループ)

事業内容 ……コンピュータ・ネットワークシステムの販売・保守、
ソフトウェア受託開発、情報処理サービス、
科学・工学系情報サービス、サポート、その他

取締役および監査役

取締役 会長	奥田陽一
代表取締役 社長	菊地哲
取締役	藁科至徳 *1
取締役	池田修二 *1
取締役	櫻庭慎一郎 *2
取締役	松澤政章 *2
取締役	齊藤晃 *2
取締役	高取成光 *2
取締役	加藤光明 *2
取締役	須崎隆寛 *2
取締役	城田勝行 *2
取締役 (非常勤)	松本孝利
取締役 (非常勤)	野田俊介
常勤監査役	谷隆博
常勤監査役	菖蒲田徹
監査役	多田敏明
監査役	西山美

*1. 専務執行役員を兼務しております。
*2. 常務執行役員を兼務しております。

株式情報 / 株主メモ

株式情報 (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
246,000,000株	62,500,000株	16,170名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	所有比率(%)
伊藤忠商事株式会社	33,665,400	53.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,928,700	4.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,910,200	3.06
CTC社員持株会	1,094,468	1.75
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	420,546	0.67
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	416,210	0.67
みずほ情報総研株式会社	337,590	0.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	321,600	0.51
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	319,829	0.51
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	305,000	0.49

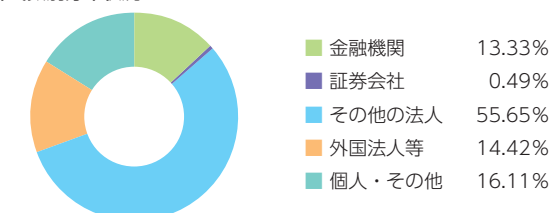
(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,996,489株があります。

株式分布状況

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度 ……毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 ……定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
このほか必要があるときは、あらかじめ公告して
基準日を定めます。

定時株主総会 ……6月に開催いたします。

株主名簿管理人 ……東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 ……東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告掲載新聞 ……日本経済新聞

単元株式数 ……100株

上場証券取引所 ……東京証券取引所 市場第一部

銘柄コード ……4739 (略称 CTC)

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先
郵送物に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお知らせ	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 ※支払期間経過後の配当金については、みずほ銀行でもお取扱いいたします。
【上記以外のお知らせ】 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 単元未満株式の買取・買増請求 等	口座を開設されている証券会社 ※証券会社とお取引をされていない場合は上記のみずほ信託銀行へお問合せ下さい。

※みずほインベスターズ証券株式会社は、2013 (平成25) 年1月4日以降はみずほ証券株式会社となります。

IRサイトのご案内

当社のIRサイトでは業績・財務情報をグラフでもご確認いただけるほか、最新資料やニュースリリース等、個人投資家の皆様へより理解いただきやすいコンテンツをご用意しております。



- 個人投資家の皆様へ
 - 業績で見るCTC
グラフを交え業績に関する情報を開示しています
 - グループ会社概要
グループ企業のご案内です
 - 株主還元
配当金や株価情報です

CTC IR

検索

